

MotoGP™ 日本グランプリサステナビリティアクション

森から生まれた資源を選手へ、本大会のサステナビリティを象徴する取り組み

モビリティリゾートもてぎ（栃木県茂木町）は、2026年10月2日（金）から10月4日（日）まで、「2026 FIM MotoGP™ 世界選手権シリーズ 第16戦 MOTUL 日本グランプリ」を開催いたします。本大会では、「循環」をテーマに、自然環境・地域社会・未来世代への価値創出に取り組んでいます。その象徴となる新たなトロフィーには、モビリティリゾートもてぎ「ハローウッズ」の森林保全活動で生まれた間伐材を活用しています。

また、10月1日（木）に実施したサステナビリティイベントでは、森林再生に向けた萌芽更新の一環として、ライダーが間伐作業を体験しました。この活動で生まれた木材は、来年のMotoGP™ 日本グランプリのトロフィー素材として活用される予定です。

私たちにとってトロフィーは、単なる表彰品ではありません。森林保全によって生まれた資源が、ライダー、ファン、そして未来へと価値をつないでいく『Circularity（循環）』の象徴です。



■参加ライダー 合計7名

- Moto2™ Iván Ortolá (QJMOTOR - JP Financial - MSI)
- Moto3™ Zen Mitani (Honda Team Asia)
- Álvaro Carpe (Red Bull KTM Ajo)
- Moto4 Waku Kunitate / Shiyu Chena / Kotaro Togashi / Hayato Chishiki

■イベント開催場所

モビリティリゾートもてぎ ハローウッズ内



**RACING FOR
THE FUTURE**

×

MOBILITY RESORT
MOTEGI

×

FIM KiSS Motegi
Keep it Shiny & Sustainable

HONDA
Honda Mobilityland

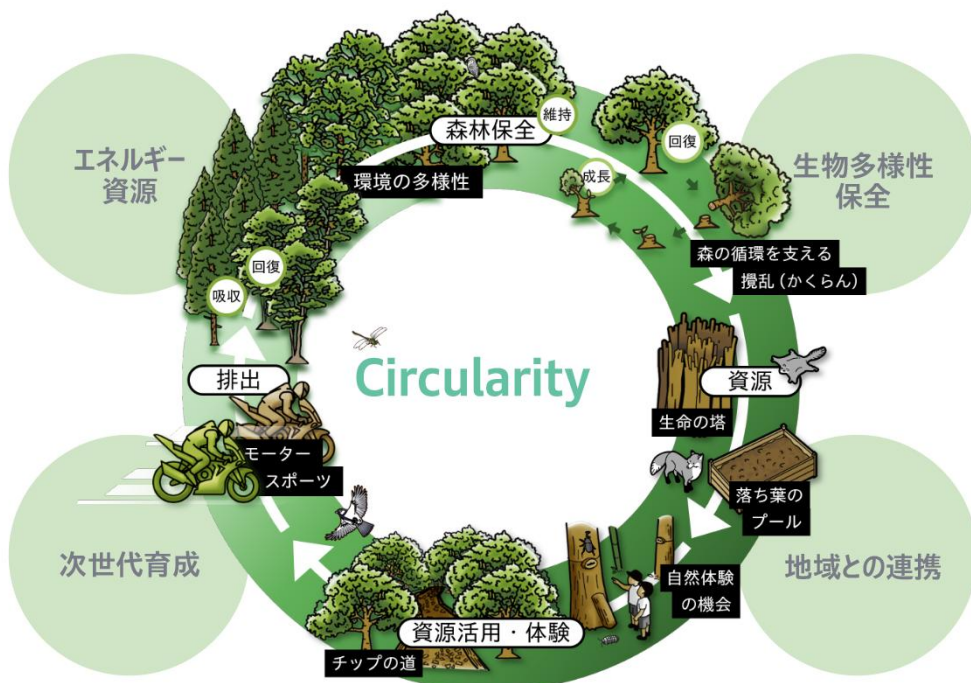
ホンダモビリティランド株式会社 Honda Mobilityland Corporation URL <https://www.mr-motegi.jp/> E-mail media@honda-ml.co.jp
モビリティリゾートもてぎ 〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1 TEL 0285-64-0001
Mobility Resort Motegi 120-1 Hiyama, Motegi-Machi, Haga-gun, Tochigi Pref., 321-3597 JAPAN TEL+81-285-64-0001

モビリティリゾートもてぎの間伐材を活用した
MotoGP™ 日本グランプリ トロフィー**森から生まれた資源を選手へ、本大会のサステナビリティを象徴する取り組み**

モビリティリゾートもてぎは、「人と自然とモビリティの融合」という理念のもとに開発されました。現在、約640ヘクタールの敷地のうち、およそ65%を森林として保全しています。そして20年以上にわたり自然環境を守り育ててきた結果、現在では5,800種を超える生物が確認されています。この豊かな自然とモータースポーツが共存する場所で育まれた間伐材を活用し、MotoGP™トロフィーを制作しました。モータースポーツを通じて、自然資源の循環と生物多様性保全の両立を体現するプロジェクトです。

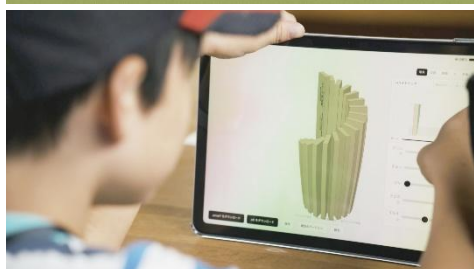
■デザインコンセプト

デザインの核は「円環」です。モビリティの要である車輪、栄誉を示すメダルや胸章、そして森の循環を円というひとつのかたちを重ねました。



子どもたちとつくるワークショップ

2026年9月12日に地域で暮らす小学生6名がワークショップに参加。ハローウッズの森を歩いて感じたことを言葉にし、VUILDが開発したEMARFアプリで擬態語のスライダーを操りながら、一人ひとりがトロフィーのかたちを決めました。そのデータをもとに、VUILDのデジタル大工がハローウッズのナラ材を用い製作。子どもたちが手がけた、ひとつとして同じかたちのない6本のトロフィーが、若きライダーの手に渡ります。



初年度となる2026年は、木材の強度や含水率などの特性を踏まえて素材を選定しました。今後は数年をかけ、もてぎ由来材の活用を段階的に広げていくことを目指しています。今回の完成を到達点とせず、時間をかけて、森とトロフィーの循環をより多くの人々とともに育てていく。その過程そのものに、このプロジェクトの価値があると考えています。

■各種トロフィー

【サステナビリティの取り組み】

Class	使用樹種	Height (1st/2nd/3rd・コンストラクター)
MotoGP™ class	ヤマザクラ	420/390/350 mm
Moto2™ class	シラカシ	390/350/310 mm
Moto3™ class	シラカシ	350/310/290 mm
Idemitsu Moto4 Asia Cup	ナラ	All 290 mm



■プロジェクトクレジット

クリエイティブディレクション／プロデュース	CDII (林 貴則／Polar Inc.、釜田 俊介／SORAH Inc)
トロフィーデザイン	倉本 仁／JIN KURAMOTO STUDIO
製作 (MotoGP・Moto2・Moto3)	カリモク家具株式会社
パラメトリックデザイン設計・ワークショップ運営・製作 (Moto4)	VUILD株式会社
ワークショップ共催	モビリティリゾートもてぎ ハローウッズ
映像ディレクション・撮影	深尾映像研究室 - 日本デザインセンター